

安心して入学を迎えるために

Q & A

- ・心配なことはどこに相談すればいいの？
- ・入学に向けた手続きは何かありますか？
- ・小学校では、読み書きはどのように学びますか？
- ・今しておいた方がよいことはありますか？
- ・アレルギーや病気のことについて、相談できますか？
- ・学校が終わった後に、こどもたちが過ごせる場はありますか？
- ・入学後の生活について、もっと知りたい

【連絡先】

〇〇に関すること

〇〇に関すること

〇〇に関すること

連絡先

静岡市教育委員会
学校教育課

連絡先

静岡市こども未来局
幼児教育・保育支援課

(案) 静岡市幼保小接続ガイドライン ～「架け橋期カリキュラム」作成に向けて～

学校教育課 幼児教育・保育支援課

遊びは学び！ 学びは遊び！ 育ちを共に見つめ語り合おう

幼保小接続の推進

幼児期の遊びを通した学びとは、こどもが自ら興味・関心をもち環境（人・もの・こと）に主体的に関わる中で、試行錯誤しながら資質・能力を育んでいく教育方法のことである。幼保小接続とは、この幼児期に育まれた資質・能力を小学校教育でさらに伸ばしていけるように、こどもたちの発達や学びの連続性を保障するための取組のことを指す。

あきとなかよし【生活】
○秋の自然物を他のものに見立てたり、その特徴を生かしたりして、実際に作りながらより楽しいおもちゃにするにはどうしたらよいか考える。【思考力・判断力・表現力等】

作成イメージ（案）

写真

○手や指を使って描く気持ちよさを味わう。
【主体的に学習に取り組む態度】
○手や指を使った描き方の工夫をする。【知識及び技能】
○とろとろ絵の具でかきたいことやものを考える。
【思考力・判断力・表現力等】

写真

写真

作成イメージ（案）

幼児期【学びの芽生え】

小学校【自覚的な学び】

写真

こどもの学びをつなげる職員間の連携

合同研修・幼保小の垣根を超えた対話

写真

写真

保育者は、

保育者の援助

※歳児ごとまたは乳児・幼児で分けて記載

0歳児から5歳児の発達の特徴

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
安心・信頼 「心地いいな」	「あれなあに？」「これなあに？」 「いやいや！」	「どうして？」「自分でやりたい！」 「聞いて、聞いて」「自分でできた！」	「面白そう」「やってみよう」 「楽しいな」「これがしたい！」	「あの子と一緒にいたいな」 「嬉しいな」「悲しいな」「けんかし ちゃった」 「みんなと一緒に楽しいな」	「どうなるかな？」「試してみよう」 「挑戦してみよう」 「こうしてみない？」「いいよ」 「友達と一緒に楽しみたい」
写真	写真	写真	写真	写真	写真
0歳～1歳の頃 視覚、聴覚などの感覚や座る、はう、 歩くなどの運動機能が発達します。 特定の人との応答的な関わりを通し て情緒的な絆が形成されます。	1歳～2歳の頃 周囲の人や物への興味や関心が高 まり、自分から手を伸ばして触ろう としたり自分の意思を親しい大人に 伝えたいという欲求が高まったりし ます。 自我が芽生え、1歳半ば頃から自己 主張が強くなります。	2歳～3歳の頃 言葉も増え、おしゃべりを楽しんだ り、大人の真似をしたり同じ動き を楽しんだりするようになります。 「自分でやりたい！」と様々なこと に挑戦するようになります。	3歳～4歳の頃 言葉の発達に伴い、自分の気持ちを 表現する時期です。 「やってみたい」「面白そう」など、気 持ちを表現しながら、自分が興味や 関心をもった遊びを楽しみます。	4歳～5歳の頃 自己主張の、友達との中で競争を体 験することが増えるようになります。 自分と友達の気持ちが違うことに 気付いたり、自分の気持ちの伝え方 を知ったりしていきます。	5歳～6歳の頃 友達との関わりが深まり、自分の考 えや気持ちを言葉で伝え合うよう になります。 友達と役割を分担したり力を合わ せたりしながら遊びや生活をつくり 上げていくようになります。

歳児の育ちの特徴的な表れ

マイナスと捉われがちだが、成長の過程として必要な現れ
(イヤイヤ期や自我の芽生え、考えの違いに気づく等)

家庭では、

この時期に保護者に、大切にしてほしい関わりのヒント

児 童 期

入学当初の1年生の学校生活

- 【安心づくり】 安心して学校生活を送ることができるようにする
- 【学級づくり】 生活や学習の基盤となる学級集団をつくる
- 【授業づくり】 学習に意欲や自信をもって主体的に取り組むことができるようにする

写真

写真

1 空間・環境の工夫

の両隣に、1年活動室（くわくルーム）、生活科（なかよしルーム）があり。フロアマットやたたきスペースがあり、1年生先で使用するようになっています。

いわゆる「スクール型」の教室内机配置を当たり前とせず、園での経験から、活動しやすい空間を保障することを優先します。交流も自然に発生していき、友達から学ぶことが成立します。

文字を読むことは十分できていない時期でもあります。写真やイラストによる掲示などで、見える化を進めます。同時に文字への抵抗感も少なくすませています。

取組2 全学年が4月中に1年位と関わる環境の工夫

4月中に全学年が1年生と関わる機会を意図的に設定します。様々な学年の多くの児童と直接関わる機会をつくることにより、1年生が、安心して学校生活を送れる環境を整えます。

学 年	期 日 ・ 期 間	内 容
6年生	～入学式	入学式準備・入学式参加
	入学式～第4週	登校後の朝の支度・自由遊び（関わりのスタンスは見守り） 給食の片付け補助（牛乳パック開き補助）
2年生	4月第1週～第2週	「ひらがな」を学ぼう。学校探検のお手伝い
5年生	4月～1年間	掃除の仕方を知ろう 2名ずつ掃除分担1年間
4年生	4月第1週～第3週 5月中旬～下旬	安全な遊具の使い方をしよう あさがおの植え付けをしよう
3年生	4月第2週～第3週	「校歌」「学校坂道」を覚えよう
全学年	4月第3週	「わくわく入学式」（1年生を迎える会）

第1週

令和7年4月8日（火）～4月11日（金）

（今週のめあて）		6年生ベア 学級・2年生 スマイルティーチャー		（留意事項 他）	
☆他学年の児童や先生と関わる。 ☆先生や友だちに慣れる。		○早寝・早起き・朝ごはん ○元気に登校／元気なあいさつ／元気な歌声 ○ナイストライ		9日（水）集団下校 10日（木）発育測定 11日（金）学級写真 給食開始 給食当番補助（養護教諭・調理員等）	
朝 （モジュール）	7（月）	8（火）	9（水）	10（木）	11（金）
1	登校後～給食スタートまで （ベアの6年生と一緒に） （スマイルティーチャーと一緒に） ①荷物の片づけ ②体操服に着替える。 ③自由遊び （運動場・教室・なかよしルーム）	☆入学式（行） 45分 9:00 9:25	なかよしタイム （なかよしR） ・健康観察 ・本となかよし 30分 ○学活（1/3） ・遊事とあいさつ・トイレ ○学活（1/3） ・ベア紹介（6年生と）	準備ができたなら 委員会任命式へ （体育館） ・後ろで 静かに見学 なかよしタイム（なかよしR） ・健康観察・本となかよし 30分 わくわくタイム ○生活 ・ロッカー（番替え） ※男女別部室補助（男女）	【写真撮影が終わったら】 なかよしタイム （なかよしR） ・健康観察 ・園の先生と遊ぼう （室内レク依頼） 30分 ○生活（2/3） ・学校さんぽ① 課題見つけ
2		学活 ・今日から1年生	わくわくタイム ○生活2 学校となかよし 〈使い方指導〉 ・廊下／トイレ ・靴箱／傘立て	校長・養護教諭 ☆発育測定 （行） ・体重／身長 ・握力／肺力	わくわくタイム ○国語 2年生に教えてもらおう 鉛筆となかよし 持ち方 名前の書き方
3					○学活 ・給食の約束 ・給食の準備
4					○算数（1/3） ・おおいのはどちがかな ○学活（2/3） ・給食の準備
		（打切）			
下校		保護者と下校	12:00	13:30	13:30
備考		入学式準備 （新5・6年生）	入学式 新式式／始業式	特別日課4 集団下校	普通日課4 発育測定・お弁当の日 色道別集団下校開始
今週 なかよしタイム （朝） 8:15～8:45 （30分間）		レク・リスト			
時間		活動内容			
8:15～8:25		室内 レクリエーション			
8:25～8:35		健康観察 ・呼名→返事 ・体調チェック ・おきき（おひき）			
		歌・リスト			
		なかよし ・6年生－入学式			
		参考動画 NHK すたあと で～きた			
		時 数			
		なかよし (1.7)			
		国語 1.0			
		算数 1.3			
		生活 1.3			
		音楽 1.3			

生涯の学びの基盤を「つなぐ」架け橋期のカリキュラム

スタートカリキュラムは、「小学校への適応指導である」という考えから、「こどもの育ちや学びを引き出す」という発想の転換が必要です。架け橋カリキュラムを作る過程で、スタートカリキュラムの充実を図っていきましょう。



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

子どもたちの
姿から捉えよう！

「幼児期の終わりまで
ていく過程で見られる
一人の子どもの姿から
てきているかを見出し
際の手がかりになります。

作成イメージ（案）

めに

まどこまで進んでいますか。
協働を進めましょう。

幼児期の終わりまでに
育ってほしい姿

○これらの姿は、到達目標ではなく、向かって
いく方向性を示しています。
○ひとつの項目を取り出して指導、評価するもの
ではありません。

作成イメージ（案）

姿です。

写真

写真

写真

幼稚園・保育所では、教員や保育者が指導を行う際に「幼
児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮し、小学校で
は、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指
導の工夫をすることが円滑な接続に大切です。

【段階】

【幼稚園・保育所】

【小学校】

作成段階の表示

架け橋期
の
カリキュ
ラムの
実施

幼稚園・保育所・小学校の教員・保育士の連携・
協働による架け橋期のカリキュラムの検討・開発、
実施、検証、改善

幼稚園・保育所・小学校の教員・保育士の連携・
協働による架け橋期のカリキュラムの検討・開発、
実施、検証、改善